



令和4年8月26日
一般社団法人家畜改良事業団

肉用牛（繁殖）雌牛ゲノミック評価第3弾 発育関連形質（生時体重・日齢枝肉重量）の評価開始！

家畜改良事業団（理事長 富田 育稔）は、雌牛のゲノミック評価について、新たに発育関連形質を評価対象に加えることとしました。発育関連形質に関するゲノミック評価の受託実施は我が国で初めてのことです。評価項目は、生時体重および日齢枝肉重量の2項目です。

当団では平成27年度から繁殖雌牛を対象にした枝肉6形質のゲノミック評価を開始後、令和元年9月からは脂肪酸組成2形質のゲノミック評価を追加しています。

さらに令和4年2月からは当団供用種雄牛の生時体重ゲノミック育種価の公表を開始していますので、今回開始する雌牛のゲノミック評価結果と併せて利用することで、産子の生時体重について予測精度が高くなります。近年、枝肉重量を重視した交配により産子の大型化が進み、難産や分娩事故が増加傾向にありますが、生時体重ゲノミック育種価を利用した交配により、産子の体重を予想できるようになり、分娩事故の低減が期待できます。

また日齢枝肉重量は、農林水産省が公表している家畜改良増殖目標（令和2年3月）に記載されている形質で肥育期間の短縮や飼料利用性の向上に利用できます（種雄牛のゲノミック育種価は令和4年8月に公表）。

申込受付は令和4年9月1日（木）より開始し、9月22日（木）までに送付された試料について10月末に評価を実施します。過去に枝肉形質の評価を実施済みの個体について、追加で発育関連形質のゲノミック評価を申し込む場合には、新たな試料は必要としません。申込みの手続きは肉用牛ゲノミック評価窓口にお問い合わせ願います。

<本件に関するお問い合わせ先>

一般社団法人 家畜改良事業団
家畜改良技術研究所
群馬県前橋市金丸町316

担 当 遺伝検査部
荻野 敦(おぎの あつし)

TEL: 027-269-2441

FAX: 027-269-9331